

Topics

当院消化器外科の手術内容のご紹介

消化器外科 園田 明莉



はじめに

当科では、消化器疾患に対して専門医による外科治療を行っています。悪性腫瘍、良性疾患、緊急疾患まで幅広く対応し、一人ひとりの患者さんに最適な治療の提供を心掛けています。

01 消化器外科全般を診療

・消化器癌に対する手術

胃癌・大腸癌に対しては基本的に腹腔鏡手術を行っており、下部直腸癌に対しては肛門温存手術を極力行っています。肝癌に対する系統的肝切除や、膵頭十二指腸切除術をはじめとした胆道癌・膵癌手術も積極的に行っており、他臓器浸潤例でも拡大切除で根治を目指します。Stage IV症例では薬物療法を基本とし、大腸癌肝転移には切除手術を行っています。

・良性疾患に対する手術

当科では鼠径ヘルニア、胆石症、虫垂炎の症例を多く治療しています。その他、食道裂孔ヘルニア、アカラシア、巨大肝嚢胞、直腸脱などに対する腹腔鏡手術を行っており、痔核や肛門狭窄症に対する手術も行っています。

・緊急手術

一刻を争うような、消化管穿孔・汎発性腹膜炎症例や絞扼性腸閉塞などの手術に対応しています。胆嚢炎や虫垂炎については、重症度や院内体制に応じて、受診当日もしくは翌日の手術、もしくは待機的手術を行います。早期の診断・手術が良好な予後につながりますので、いつでも当科へお電話でご相談をいただけますと幸いです。



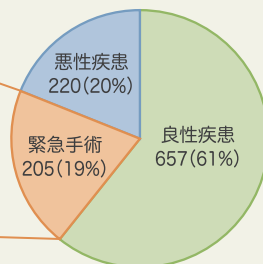
02 手術実績

現行体制（2021/4月～2026/7月）での総手術件数：1082例（局所麻酔による小手術を除く）

・悪性疾患：220例（20%） ・良性疾患：657例（61%） ・緊急手術：205例（19%）

<緊急手術症例の内訳>

▶急性胆嚢炎	51例	▶急性虫垂炎	70例
▶上部・下部消化管穿孔	17例	▶腸閉塞	22例
▶ヘルニア嵌頓	21例		
▶その他	24例		
(NOMI、内視鏡・IVRで止血困難な消化管出血・脾破裂など)			



03 高齢者手術

超高齢者(90歳以上)の
全身麻酔手術 43例

上記期間に同じ
良性 12例、悪性 16例、緊急 15例

菊池地域は高齢化率の高い地域です。当科では、年齢のみを理由に手術を断念せず、ご本人・ご家族とともに、リスクと治療効果を十分に検討した上で手術治療を検討します。進行癌による消化管閉塞に対しても、胃空腸バイパス術や人工肛門造設術などにより「終末期までご自身の口で食べる」を支える治療や、在宅療養支援のための中心静脈ポート留置なども行っています。

おわりに

手術適応の判断に迷われる症例や、高齢患者さんの治療方針についても、お気軽にご相談ください。消化器内科と密に連携をとり診療を行っておりますので、内科外科のどちらにご紹介いただきましても構いません。地域の先生方と共に、迅速な診断・早期の外科治療を推進していきます。

当院消化器外科外来のご紹介

消化器外科は月・水・金の8:30～11:00の受付で外来診療を行っています。

火・木は手術日ですが、緊急の場合は、曜日や時間に関係なくご紹介下さい。ご紹介前のお電話でのご相談も随時歓迎しています。